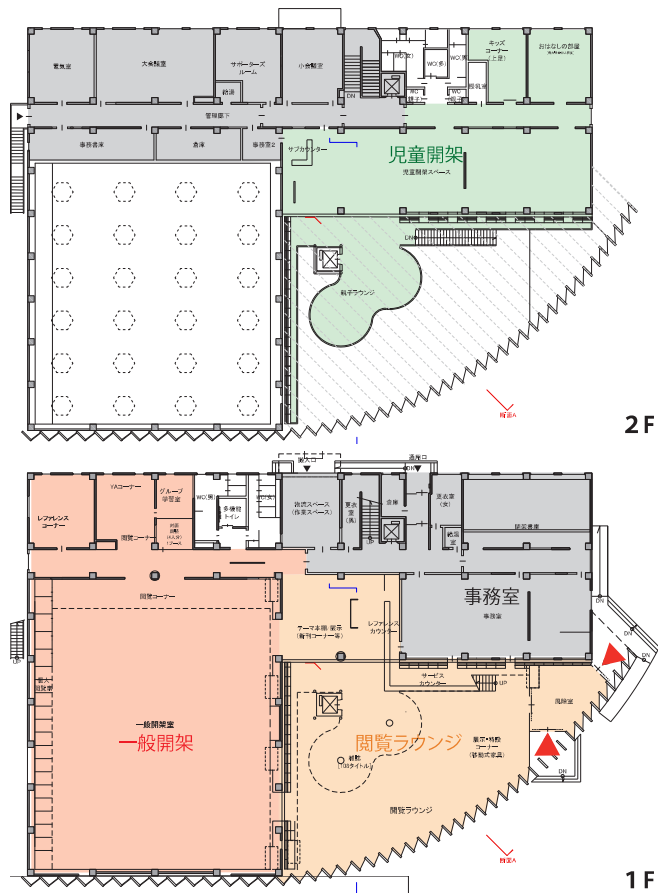


原案 (児童開架2F)



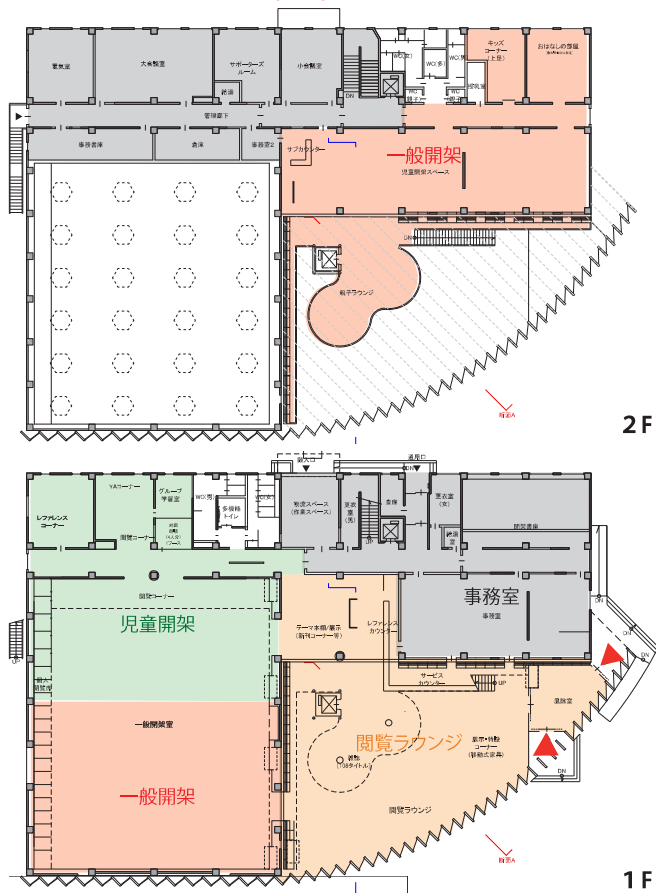
メリット

- 一般開架室を一体的に計画できる。
- 1F入口やカウンター近くに事務室・閉架書庫・物流スペースを設けられる。
- 床の耐荷重が低い2Fに、書架の段数の少ない児童開架を設けられる。
- にぎやかな場所、中間的な場所、静かな場所などと音のゾーニングが明確である。

デメリット

- 入口から児童開架までの動線が長い。
- 事務室が2カ所になる。

検討案A: 児童開架1F西側配置案



メリット

- 入口から児童開架までの動線が短い。
- 1F入口やカウンター近くに事務室・閉架書庫・物流スペースを設けられる。

デメリット

- 天井の高い旧多目的ホール空間が一般開架スペースと児童開架スペースに分かれており、高さのある壁で仕切る必要がある。
- 一般開架スペースが1Fと2Fに分断されており、利用者が本を探しにくく、管理もしにくい。
- 2Fの床耐荷重が低いため、2Fの一般開架スペースは書架の段数の少なくする必要があり、蔵書数の確保が難しい。

検討案B: 児童開架1F北側配置案



メリット

- 入口から児童開架までの動線が短い。
- 一般開架室を一体的に計画できる。
- にぎやかな場所、中間的な場所、静かな場所などと音のゾーニングが明確である。

デメリット

- 児童開架の面積が十分に確保できない。
- 事務室が1Fと2Fに分かれてしまう。
- 2Fの床耐荷重が低いため、2Fの閉架書庫で集密書庫が採用できず、必要蔵書数の確保がきわめて難しい。